

田原小だより



第676号

令和3年10月29日
台東区立田原小学校
校長 佐藤 貴生

創立110周年記念式典に向けて

副校長 梶井 啓史

10月になり、緊急事態宣言も解除され、日々の新規陽性者数も目に見えて減ってまいりました。学校での基本的な感染対策は怠りませんが、学校行事や異学年の交流活動等が行えるようになり、以前の活気が戻ってまいりました。10月30日の運動会に向けて、各学年、バンド・フラッグ隊の練習にも熱が入り、それと共に子供たちの笑顔にも自信が満ちてきました。運動会本番での子供たちの活躍が楽しみです。

6年生は2泊3日の日光移動教室に行っていました。2日目、3日目は時々雨が降る中でしたが、戦場ヶ原を元気に歩き通したり、東照宮ではガイドの方のお話を真剣に聞いて歴史を肌で感じたり、とても充実した移動教室となりました。雨にも負けずに楽しむことができる田原っ子のたくましさを感じました。「友達との絆が深まった。」と、どの子もとてもいい笑顔で帰ってきました。

さて、18年という長きに渡って本校でお勤めいただいた用務主事の高橋さんが先日ご退職されました。高橋さんは誰に対してもいつも笑顔で優しく接してくださいました。最後の勤務日には、本校の子供たちだけでなく、卒業生やその保護者の方までが、高橋さんに会いに来て長い時間別れを惜しんでいました。まさに『チーム田原』です。全教職員、PTAや地域の皆様、みんなで力を合わせて子供を育てているのを実感いたしました。

11月20日には創立110周年記念式典が開かれます。本来ならば今まで、そして現在も本校を支えてくださっている大勢の皆様とともに、盛大にお祝いしたいところではございますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来賓もごく限ってお招きして式典を挙行いたします。110年の歴史と伝統を繋いできた人々の思いを、教職員一同しっかりと受け止め、今後も子供たちの成長と田原小学校の発展に努めてまいります。

生活指導部より

生活指導部 高橋 浩之

11月の生活指導月目標は『友達と仲良くしよう』です。友達と仲良く過ごすためには、友達の気持ちを考えることが大切だと思います。友達がどんな気持ちでいるのかを考え、声をかけられる子供たちも多くみられ、気持ちがとても温かくなります。みんなが気持ちよく、学校が楽しいと思える場所になってほしいと願いながら、今後も指導を続けていきます。

今月からは、冬季の服装での生活となります。登下校時にはブレザー、校帽を着用させてください。今年度より、校舎内ではスクールセーター、ベストで過ごしてもよいこととしました。気温に合わせて衣服の調節をするよう、ご家庭でも話してください。